

当院の現状と今後の方針について

令和7年2月25日

独立行政法人
国立病院機構小諸高原病院
院長 村杉 謙次

平素より当院の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。先日、関係機関の皆様方に、当院の精神科病棟を1～2ヶ病棟休棟する予定であることと、外来診療における新患の受け入れ一時停止することに関する文書を発出させていただきました（別紙1）。年末年始にかけて、医師人事に関する急な事態の変化が生じ、新年度以降の診療機能維持に向け早急な対応が必要となり、突然のご連絡となつてしまいましたこと、心よりお詫び申し上げます。この場をお借りして、当院の現状と今後の方針についてお伝えさせていただきます。

【当院の現状と方針】

- 日本の精神科病床数は諸外国に比べ多く、精神科医療の重点が入院医療から地域医療に移行してきている状況も踏まえ、全国精神科病床数の削減（≒長期入院患者の退院促進）は国の政策として以前より掲げられ、病床数は徐々に減少傾向にある。
- 特に長期間の入院治療を必要とする患者数も、人口減、統合失調症の軽症化、向精神薬の進歩、地域における医療・支援体制の充実等により減少傾向にあり、当院においても入院患者数は減少傾向にある。収支的にも、診療報酬の低さもあり、補助金等のない中での慢性期病棟（15：1病棟）の維持は困難な状況がある。
- 一方で、統合失調症の急性増悪、気分障害の自傷・自殺リスク、認知症のBPSD、発達障害・知的障害に伴う行動障害等、急性期の入院治療に対するニーズは高く、長野県の東北信地区の精神科救急輪番を10日間/月の頻度で担当している状況もあり、精神科急性期医療の維持と機能向上は不可欠な状況。
- 上記を踏まえ、病院の小規模化・高機能化に向け、慢性期病棟60床の廃止、病棟新築・改修工事も含めた計画を立案し、R5年4月より着工、R6年11月より2階建て新病棟（1階：重症心身障害児者60床、2階：精神科急性期50床）の稼働開始。さらに以下のように、第2病棟上（慢性期）と第2病棟下（亜急性期）を合体し、第1病棟に集約していく予定としていた。

令和6年11月～常勤医10名（精神科医9名）

病棟名	病床種別	病床数	
		医療法	運営
第1病棟	休棟	-	-
第2病棟上	精神（慢性期）	42	42
第2病棟下	精神（亜急性期）	48	48
第3病棟	一般（重心）	60	60
第5病棟	精神（救急・急性期）	50	50
第6病棟	精神（認知症）	58	50
第7病棟東	休棟	-	-
第7病棟西	休棟	-	-
第8病棟	精神（医療観察法）	17	17
計		275	267

当初計画
病棟改修後

令和7～8年頃完了

病棟名	病床種別	病床数	
		医療法	運営
第1病棟	精神（亜急性期）	44	44
第2病棟上	休棟（次期計画）	16	-
第2病棟下	休棟	-	-
第3病棟	一般（重心）	60	60
第5病棟	精神（救急・急性期）	50	50
第6病棟	精神（認知症）	50	50
第7病棟東	休棟	-	-
第7病棟西	休棟	-	-
第8病棟	精神（医療観察法）	17	17
計		237	221

- しかし年末年始にかけ、常勤医1名（副院長）、非常勤医1名（外来・病棟業務兼務）のR6年度末での退職予定に加え、常勤医1名（中堅 急性期病棟担当）がR7年1月より病気休暇に入り、R7年度以降の勤務継続も危ぶまれる状況となる。加えてR7年度中に常勤医1名（認知症病棟担当）が退職予定であり、R7年度に精神科医5名体制となる見込みがある。
- 併せて改修工事の遅延も決定している状況もあり、精神科医少人数体制で維持可能な診療機能の検討と、精神科急性期医療や児童思春期医療における機能向上を念頭に以下の病棟再編計画を立案した。

令和6年11月～常勤医10名（精神科医9名）

病棟名	病床種別	病床数	
		医療法	運営
第1病棟	休棟	-	-
第2病棟上	精神（慢性期）	42	42
第2病棟下	精神（亜急性期）	48	48
第3病棟	一般（重心）	60	60
第5病棟	精神（救急・急性期）	50	50
第6病棟	精神（認知症）	58	50
第7病棟東	休棟	-	-
第7病棟西	休棟	-	-
第8病棟	精神（医療観察法）	17	17
計		275	267

当初計画
病棟改修後

2上病棟（慢性期）集約前倒し

令和7年4月～常勤医7名
（精神科医6名）

病棟名	病床種別	病床数	
		医療法	運営
第1病棟	休棟	-	-
第2病棟上	休棟	42	-
第2病棟下	精神（急性期以外）	48	48
第3病棟	一般（重心）	60	60
第5病棟	精神（救急・急性期）	50	50
第6病棟	精神（急性期以外）	58	50
第7病棟東	休棟	-	-
第7病棟西	休棟	-	-
第8病棟	精神（医療観察法）	17	17
計		275	225

将来計画
（時期未定）

6病棟（認知症）
集約検討

令和7～8年頃完了

病棟名	病床種別	病床数	
		医療法	運営
第1病棟	精神（亜急性期）	44	44
第2病棟上	休棟（改修計画）	16	-
第2病棟下	休棟	-	-
第3病棟	一般（重心）	60	60
第5病棟	精神（救急・急性期）	50	50
第6病棟	精神（認知症）	50	50
第7病棟東	休棟	-	-
第7病棟西	休棟	-	-
第8病棟	精神（医療観察法）	17	17
計		237	221

令和7年度中 常勤医6名（精神科医5名）

病棟名	病床種別	病床数	
		医療法	運営
第1病棟	精神（急性期以外）	44	44
第2病棟上	精神（児童思春期）	30	30
第2病棟下	休棟	-	-
第3病棟	一般（重心）	60	60
第5病棟	精神（救急・急性期）	50	50
第6病棟	休棟	-	-
第7病棟東	休棟	-	-
第7病棟西	休棟	-	-
第8病棟	精神（医療観察法）	17	17
計		201	201

精神科医の確保は全国的に厳しく、精神科医療の運営も、社会情勢に伴い厳しい状況が続いております。当院におきましても、地域医療に貢献するため、引き続き可能な限り、医師確保の努力は続けていく所存ではございますが、少なくとも令和7年度中の医師確保の見込みはなく、苦渋の決断ではございますが、上記の病棟再編計画を考えざるを得ない状況に陥っております。

外来診療につきましても、精神科医数の減少に伴い、入院を必要とされる方々や、小児科等では対応困難な児童思春期症例につきましても、引き続き受け入れさせていただきますが、その他の外来新患につきましてもは一時停止とさせていただきます。退院促進による受け入れ依頼や外来診療制限に伴い、皆様には多大なご迷惑とご負担をおかけしますが、ご理解の上ご協力を心からお願い申し上げます。なお、状況や体制の変化が生じた場合は、改めてお知らせいたしますのでよろしくお願いいたします。